



since 2000 酒蔵の映画館
深谷シネマ



上映スケジュール

2012年3/4(日)～10日(土)

*6日(火)は休館

- ① 10:30-12:10 「若い人」
- ① 12:10-13:30
- ② 13:30-15:30 「RAILWAYS」
- ② 15:30-16:30
- ③ 16:30-18:30 「RAILWAYS」
- ③ 18:30-19:30
- ③ 19:30-21:43 「RAILWAYS」

Sound of Silence 3

サイレント映画(館)の可能性

映画を中心に旧酒造所から文化村へと再生が進む旧七ツ梅酒造の深谷シネマにて行った昨年6月のサイレント映画のピアノ伴奏付上映会とサイレント映画と音楽の取り組みを行うパリのシネマバルザック館長のトーク、12月の日本統治下の朝鮮半島の映画について詳しい韓国プジョンアートセンター館長によるレクチャーにつづく、「サウンドオブサイレンス」の第三弾です。産業遺産の一角で映画史の遺産であるサイレント映画上映の可能性を探るシリーズであります。今回は趣を変えて、通常の劇映画上映の合間に1日に計3時間半潜む「沈黙する映画館」においてアーティストによる実験映像作品の上映を行い、いわばサイレント映画館の可能性を探ります。

写真左 ミーシャ ラインカウフ 1977年東独ベルリン生まれ 写真右 マティアス ヴェルムカ 1978年東独ベルリン生まれ

もうひとつの鉄道物語！”Zwischenzeit”

今回はベルリンを拠点に活躍する新進気鋭のアーティストMatthias Wermke & Micha Leinkaufの映像作品の上映をおこないます。深谷シネマではこの期間中、49歳で電車の運転士になった男の物語「railways」を中心に通常の時間帯に上映します。この劇映画上映の合間をめぐり使い彼らの代表作のひとつである「Zwischenzeit-In Between”合間”」ループで上映を行います。その内容は都市の鉄道の線路をチープなトロッコで目的地のない旅するというものです。「railways」を目的にご来場されるお客さまにはもうひとつの鉄道物語としてお楽しみいただけます。特筆すべきは構想から4年入念なりサーチを重ねたうえで、列車が行きかう鉄道空間で許可なしに繰り広げられる一種のパフォーマンスを劇映画のようにプロフェッショナルに記録した驚くべき作品であります。この作品のエピソード、都市空間への関りそしてベルリンへの想いを語ってもらうトークイベント企画中です。

日時：2012年3/4(日)～10日(土) *6日(火)は休館

内容：「Zwischenzeit(In Between)」上映 *3月中にアーティストを迎えたトークを企画中

会場：旧七ツ梅酒造の深谷シネマ(埼玉県深谷市深谷町9-12) Tel 048-551-4592

主催：ナナツユメ実行委員会、ななつゆめ 助成：財団法人アサヒビール芸術文化財団 協力：深谷シネマ

■マティアス・ヴェルムカ & ミーシャ・ラインカウフ (東京都現代美術館「ゼロ年代のベルリン」のアーティストプロフィールより)

パフォーマンスを行うヴェルムカと、それを記録映像として撮影するラインカウフによる二人組のアーティスト・グループ。信号で止まっているバスや電車の窓をゲリラ的に「無許可で」掃除する《Thanks Anyway》(2006年)やベルリン市街地の地下鉄網を入念に調査した後、違法で線路に侵入しトロッコで巡る《In-Between》(2007-8年)のように、ユーモラスを含みながらも都市に介入するパフォーマンスを行っている。出展作品《ネオンオレンジ色の牛》(2005年)は、ベルリンの地下鉄の線路内や橋の下などの様々な場所でブランコをゲリラ的に設置、こぐ様子を記録した映像作品である。

■ ななつゆめ | 新たな文化の波紋を酒造の蔵から

2009年より関東関西を中心に酒造りの関連する施設において、各地の関係者と協働しながらその特性、資産を生かしたさまざまな企画を実施している。

<http://nana-yume.com>